

テレメータ		
取扱説明書	専用回線帯域品目	形式
	音声・データ同時通信モデム	MOD7

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

- ・ モデム（本体＋ソケット） 1 台
- ・ 抵抗（ソケットに接続） 1 個

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●供給電源

- ・ 許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
交流電源：定格電圧 100 ~ 240 V AC の場合
85 ~ 264 V AC、47 ~ 66 Hz、約 6 VA
- ・ 直流電源：定格電圧 24 V DC の場合
24 V DC ± 10 %、約 2 W、約 80 mA

●取扱いについて

- ・ ソケットから本体部の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源および回線を遮断して下さい。

●設置について

- ・ 屋内でご使用下さい。
- ・ 塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・ 振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・ 周囲温度が -5 ~ +50℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

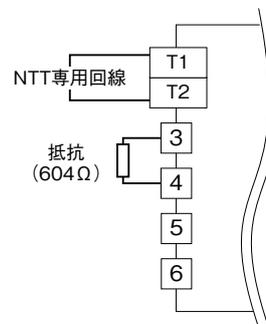
- ・ 配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・ 本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

●本器を使用する場合に、次の点を確認して下さい。

- ・ 本器に接続する機器
本器は弊社製モデムインタフェース（DLS、SMDM、22LS1 など）との接続用に設計したものであり、他社製品との接続は行わないで下さい。
本器は、変調方式により 300 bps より高速の通信はできません。このため、本器に接続する機器の伝送速度が 300 bps 以下である必要があります。もし、300 bps を超える伝送速度の機器を接続しますと変調することができず、通信が正常に行えません。
- ・ 専用回線との接続
本器に接続可能な専用回線は帯域品目 3.4 kHz ですので注意して下さい。また、専用回線への落雷による破損を防止するために必ずテレメータ用避雷器（形式：MDP-FT など）を接続して下さい。また、供給電源にも電源用避雷器（形式：MA-100 など）を接続することをお勧めします。
- ・ 電話機のハウリングについて
自局の電話機を相手局の電話機に近づけ過ぎたり、回線の減衰量が非常に少ない（1 dB 以下）場合、電話機がハウリングを起こす可能性があります。そのような場合は、自局と相手局の電話機を離す、回線減衰量を 1 dB 以上にするなどの対策を行って下さい。
- ・ 電話機（ELTEL FT-4W、ELTEL FT II）を接続しない場合
下図のように 3 番、4 番端子間の抵抗（604 Ω）を接続したままご使用下さい（電話機を接続する場合は、必ず抵抗を外してご使用下さい）。

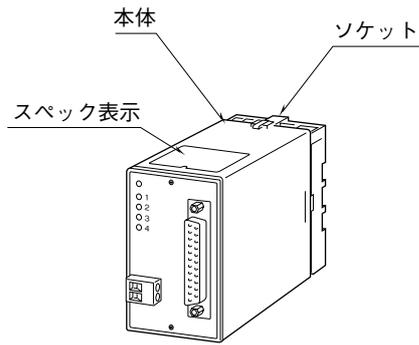


・机上での確認について

- 回線の減衰量が少ない場合、通信が不安定になることがあります。その場合は、減衰器などを用いて確認して下さい。

注) 専用回線との接続は、工事担当者またはその監督の下で行って下さい。

各部の名称



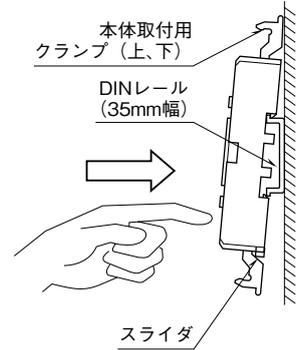
取付方法

ソケットの上下にある黄色いクランプを外すと、本体とソケットを分離できます。

■DIN レール取付の場合

ソケットはスライダのある方を下にして下さい。ソケット裏面の側フックを DIN レールに掛け下側を押しして下さい。

取外す場合はマイナスドライバーなどでスライダを下に押し下げてその状態で下側から引いて下さい。

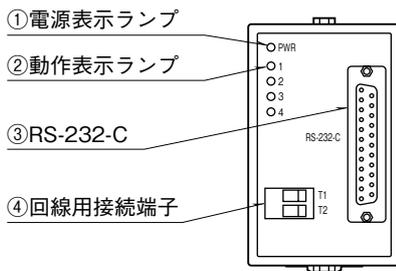


ソケットの形状は機種により多少異なることがあります。

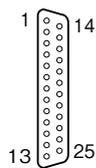
■壁取付の場合

外形寸法図を参考に行ってください。

前面パネル図



■RS-232-Cインターフェース



略号	ピン番号	機能	説明
FG	1		(未接続)
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ
RS	4	送信要求	送信要求の信号
CS	5	送信可	本器へのデータ送信許可
DR	6	データセットレディ	送受信可能信号
SG	7	信号用アース	信号用アース
CD	8	キャリア検出	キャリア受信中信号
ER	20	端末装置レディ	本器の送受信可能信号

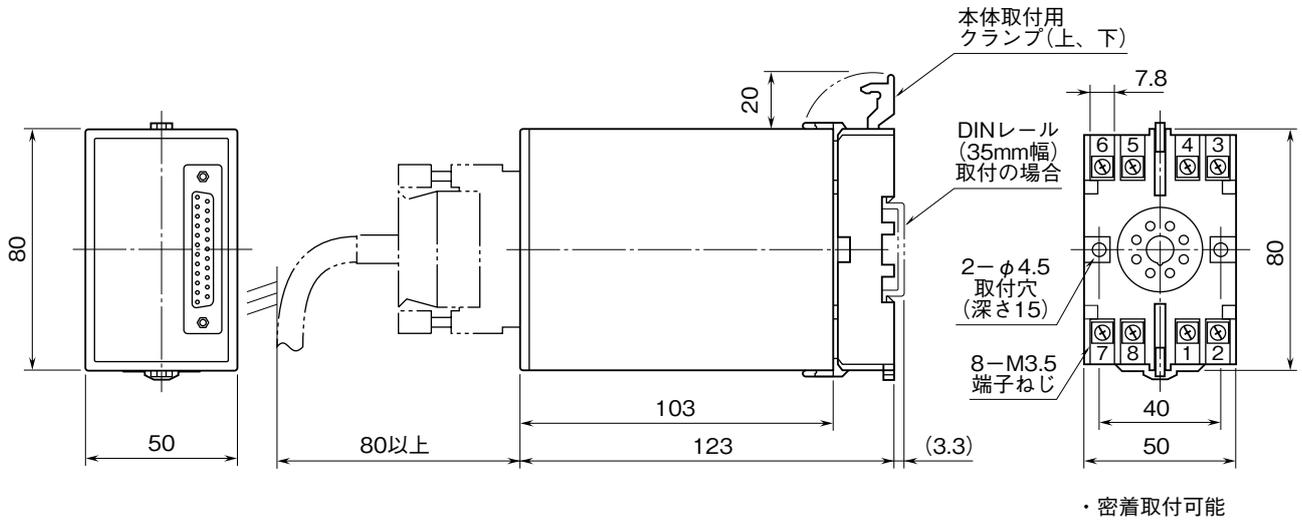
■動作表示ランプ

- 1 : 送信要求 (RS) 表示
- 2 : 送信許可 (CS) 表示
- 3 : 送信データ (SD) 表示
- 4 : 受信データ (RD) 表示

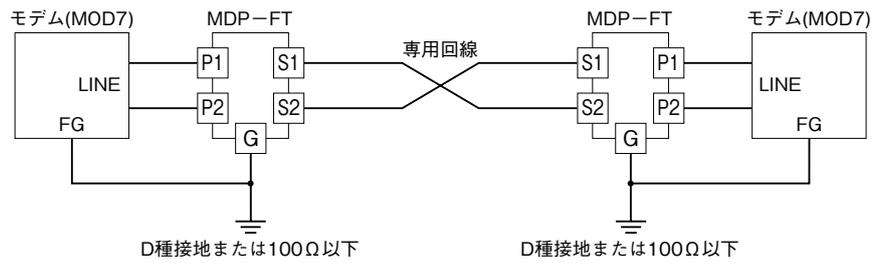
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位 : mm)



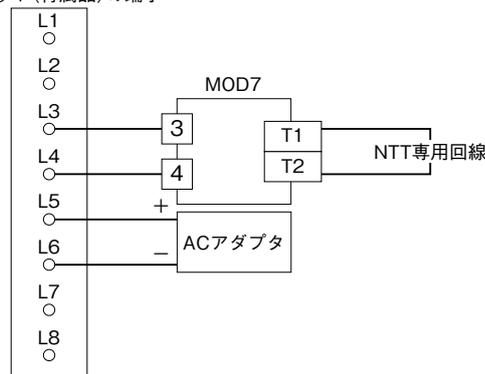
結線要領図



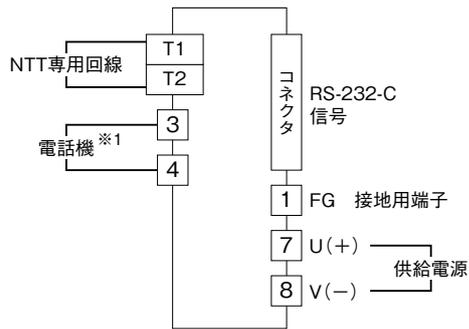
専用回線(帯域品目 3.4kHz)には極性がありませんので、専用回線(L1、L2)をモデム(MOD7)の端子台(LINE)のT1、T2のどちらに接続しても問題はありません。

■電話機 (ELTEL FT-4W、ELTEL FT II) への結線方法

ローゼット(付属品)の端子



端子接続図



※1、電話機を使用しない場合、3番、4番端子間に付属の抵抗（604Ω）を必ず接続して下さい。

配線

■端子ねじ

締付トルク：0.8 N・m

■コネクタ形ユーロ端子台（回線）

適用電線：0.5～2.5 mm²

剥離長：7 mm

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器<エム・レスタシリーズ>をご用意しております。併せてご利用下さい。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。